

3月25日(月)

新たな見方

聖書朗読 エレミヤ 12:4~17

ですから、弱った手と衰えたひざとを、まっすぐにしなさい。また、・・・まっすぐな道を作りなさい。ヘブル 12:12~13

失業、不景気、気難しい社長、不道德、家庭の問題、屋根の雨漏り、神に背を向けている人たち、あざ笑われるクリスチャン。これにどうやって勇気づけられるのでしょうか？

そうです。エレミヤも困難な時を過ごしていました。あざ笑われ、迫害され、そして投獄されていたけれど、彼への神の御言葉に気がつきました。『あなたは徒歩の人たちと走っても疲れるのに、どうして騎馬の人と競走できよう。あなたは平穏な地で安心して過ごしているのに、どうしてヨルダンの密林で過ごせよう。』(12:5)

これって驚きではありませんか？ 神様がエレミヤに言いたいのはこうです。「エレミヤ、実際に目の前で対決が起きて、本当に困難な試練に直面していると思ったとき、あなたはどうするのですか？」

ヘブルの著者は別の言い方をしています。『あなたがたはまだ、罪と戦って、血を流すまで抵抗したことはありません。』(ヘブル 12:4)。

落ち込んでいるときは、物事を大きく見られないかもしれませんが。私たちはパウロのように、39回のムチ打ちにあい、投石され、そして放置されていません。私たちはクリスチャンだからといって迫害にはあっていません。そして、私たちの未来に十字架が待っているわけでもありません。だから神はエレミヤに言いました。『新たな見方を得なさい』。そして、エレミヤはそれに従いました。

讃美歌 316

祈り お父様。あなた様を見失ってしまったことをお赦してください。この世の試練に負けてしまい、見通しを誤ってしまった私をお赦してください。どこにでもあなた様を感じることができますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

ペニー・F・ニコラス
テキサス州 オデッサ

今日のカ

2013年3月25日~3月31日

翻訳 阿部やよい

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

3月26日(火)

主は私に何を求めておられるのか？

聖書朗読 ミカ 6:6~8

主はあなたに告げられた。人よ。何が良いことなのか。主は何をあなたに求めておられるのか。
ミカ 6:8

自身のために働き、時間を使い、お金を使い、そして自己顕示を満足させようと必死になってしまうこの世の中で、クリスチャンはどのようにして主に仕えたいという望みとのバランスをとればよいのでしょうか。

預言者ミカによる今日の聖句の中で、神は重要なポイントをおっしゃっています。神様にお仕えするために、今、神様が私たちに望んでおられることはこれです。

- 公義を行う
- 誠実を愛す
- へりくだって神とともに歩む

このたった3つのシンプルなことです。「公義を行う」とは、自分がしてもらいたいように、周りの人に接するという事です。見知らぬ人のためにドアを開け、他人に親切をし、全ての人に対して平等に接するという事です。「誠実を愛する」とは、自分よりもまず周りの人を大切に、人とのかわりけで許しを忘れない。そして日々出会う人たちと愛の精神を惜しみなく分かち合うことです。「へりくだって神とともに歩む」とは、毎日を主のために生きることに捧げることと、私たちの人間関係においてまず他人を優先させること、これを一日着実にやることを受け入れることです。

だからもし、今神様が何を求めておられるかがわからなかったり、複雑すぎたりして不安に陥っても、ただこの3つ「公義を行う」、「誠実を愛する」、「へりくだって神とともに歩む」を実行すればよいのです。

聖歌 288

祈り 我らの親愛なる主、お父様。命がけであなた様の御心を行い、日々あなた様と共に歩むとき、自分ではなく周りの人を第一に考えられるようお導きください。キリストの愛の中で私たちは誠実でいられますように。
イエス様の御名によって。アーメン。

マーク・ヤング
ワシントン州 ヤキマ

3月27日(水)

人生のドラマ

聖書朗読 ホセア 3章

「慰めよ。慰めよ。わたしの民を。」とあなたがたの神は仰せられる。「エルサレムに優しく語りかけよ。これに呼びかけよ。その労苦は終わり、その咎は償われた。」
イザヤ 40:1~2

時々、自分の人生がドラマのように思うときがあります。そのドラマの中で私たちは観客のために自分の役を演じているのです。観客はドラマの中で見たものを真似て、観客自身のドラマの中で演じていきます。

ホセアは神様が命じたように演じることを求められました。ホセアは不貞の女を妻にしました。そして、その妻と離婚し、再び結婚しました。日常生活のイスラエルやホセアの観客もまた神様に対して不誠実でした。

今私たちは、神の民を慰め、良き知らせをもたらす、公正を求めることを求められています。ホセアのように私たちは、他人のお粗末な選択、貧困、無知、厳しい状況に徐々に巻き込まれています。清くいること、信仰深い友人、家族を持つこと、人のことには口出しをしないこと、そうすれば私たちは幸せと、満足が与えられます。また、神様に背く者が多いこの世の中で、私たちのミッションが完了できるよう神様は望んでおられます。

私たちが世界中に出ていったとき、私たちは私たちの神様の愛を演じるのです。神様が私たちを赦してくださったので、私たちが罪ある者を赦したとき、世界は神様のあわれみを見ることが出来ます。差し伸べられている手を払うような人々に手を差し伸べているとき、世界は神様の恵みをみるのです。

讃美歌 354

祈り お父様。人生を豊かにするために、私たちに多くの役をお与えくださっています。それぞれの役が何かしらの方法であなた様を褒めたたえ、あなた様がおこなっている救いを私たちが演じることが出来ますように。
イエス様の御名によって。アーメン。

ポール・トーマス
カリフォルニア州 ヤクイバ

3月28日(木)

変えられています

聖書朗読 ハバクク 3:8~19

よみの綱は私を取り囲み、死のわなは私に立ち向かった。私は苦しみの中に主を呼び求め、わが神に叫んだ。主はその宮で私の声を聞かれ、私の叫びは、御耳に届いた。

Ⅱサムエル 22:6~7

ハバクク書の3章は、主を待ち望んでいる人々に希望と勇気を与えます。1章では、ハバククもまた主を待ち望んでいるのですが、私たちと同じように、ハバククも待ちきれないでいることがわかります。

3章のハバククの祈りで、ハバククの心の変化を見ることができます。ハバククは神の力を認めることから祈りをはじめます。ハバククが信じて待ち望んでいる神は、地を裂いて川とし、国々を踏みつけ、神のすばらしい馬で海を踏みつけ、大水に、あわを立たせられます。我が神は強く、そして優秀な戦士なのです。

戦士の神は、私たちのために戦うことをやめません。しっかり立って、待っていると、神様は私たちを変えてくださいます。強めてくださるよう神様に祈りながら、神様を待っていれば、神様は私の足を雌鹿のようにし、私に高い所を歩ませてくださいます。待っている時間は決して無駄にはなりません。

神様は私たちを、もっと神様と共に歩めるように導いてくださっています。

私たちの神様は、無関心や無能な御方ではありません。神様は私たちの苦しみや、願いを無視する御方ではありません。神様は聞いておられ、そして、すでに働いてくださっています。神様は戦士です。私たちのために戦ってくださっておられます。計り知れない強さで私たちを導いてくださっています。そして常に私たちをより神様に近づくよう、変えてくださっています。

讃美歌 312

祈り 主よ。私たちがもがき苦しむるとき、あなた様の強さを私たちに注いでください。しっかりと、ゆらぐことなく立っていられるようお助けください。私たちを変え、希望で満たしてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

レベッカ・スミス

テキサス州 コーパスクリスティ

3月29日(金)

イエス様を本当に試みにあわすことができるのでしょうか？

聖書朗読 マタイ 4:1~11

私たちの大祭司は、私の弱さに同情できない方ではありません。罪は犯されませんが、すべての点で、私たちと同じように、試みに会われたのです。

ヘブル 4:15

私は、イエス様があわれた試みによる苦しみと、私たちが試みにあったときの苦しみと同じものであるのかいつも考えてしまいます。結局のところ、神殿の頂から身を投げてみよという悪魔の言葉は、イエス様にとっては試みだったのでしょうか？ イエス様は、御使いたちはイエス様の思いのままであることを知っていたのですから。ひれ伏して悪魔を拝めば、その報酬としてイエス様とお父様が創られた世を支配できる力を与えられるというこの試みを、イエス様はどれくらい本気で受け止められたのでしょうか？

石をパンに変えるという試みに関しては、食事を食べ損ねたことがある私には、それが試みであるとわかります。しかし、6週間何も食べずにいたイエス様の肉体的、精神的辛さに思いを馳せれば馳せるほど、イエス様の完全さを理解できないのだと知りました。

そこで私は、この聖句を何度も読み、その奥にある神様の思いを読み取る努力をしました。そして、この試みや、イエス様の奉仕を通してあわれた試みは私たちがあった試みよりもさらに厳しいものであったに違いないとわかりました。私たちは、悪魔がその大きな銃の引き金を引くより先に、悪魔の試みに降参してしまっているのです。イエス様への試みは、私たちへの試みとはレベルが違います。イエス様への試みは、私たちへの試みより厳しく、より狡猾な試みであるにちがひありません。イエス様は、私たちの罪のため、完全なるいけにえとなって全ての試みに耐えられたのです。

讃美歌 317

祈り お父様。御子が、人間が知っている全ての試みに直面しただけでなく、それを耐え抜いたという事実をなかなか受け入れられない私をお赦しください。私はあまりに弱く、イエス様の完全さがなかなか信じられません。イエス様というお手本を私に与えくださり感謝いたします。そして、そのお手本に従う強さを私にお与えください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ケイ・バーナム・エバンス

テキサス州 ラボック

3月30日(土)

いったい私はどこにいるの！

聖書朗読 マタイ 4:18~25

罪を犯したために打ちたたかれて、それを耐え忍んだからといって、何の誉れになるでしょう。けれども、善を行って苦しみを受け、それを耐え忍ぶとしたら、それは、神に喜ばれることです。 I ペテロ 2:20

暗闇に包まれ、時刻もだいぶ遅くなっていました。私と妹はどちらが東の方角か分からなくなってしまっていました。その時、月が現れました。私たちがすべきことは、たった一つの正しい道しるべに従って行くことでした。私たちは車に戻り、月に向かって走り出しました。

イエス様は「わたしについて来なさい」とおっしゃいました。弟子たちはイエス様について行くことで、彼らの中で何かが変わったり、その後の人生がどうなるかなんてわかっていなかったと思います。弟子たちがわかっていたのは、イエス様が立派な御方であること、そしてイエス様は今までの経験したもの全てを超えた、仕事を投げ打ってでもついていく価値のある存在であるということでした。

このことは、今の私たちが知っている全てではないでしょうか。イエス様は神様であり、イエス様は私たちを創られ、私たちにとって何が一番必要かを知っておられる御方。もし、私たちが神様の御心を行い、神様からのお応えを信じるのなら、平安と喜びが私たちの人生の中に必ずあるはずです。『私について来なさい』とイエス様はおっしゃいました。どの道の足跡についていくべきかを知る必要はありません。私たちが知るべきことは、どの足跡がイエス様のものかを知ることです。

私の歩みはゆるぐことがない。だから迷うことはない。

私の歩んでいる道は明るく、広い。

「私が道である！」 この神の声が私たちには聞こえる。

そして、私は、私の導き手、神について行く。

————— ロバート・バーデット

聖歌 225

祈り この世にいる私たちに、あなたが、私たちの霊的な贖い、平安へと導いてくださる足跡を残して下さり心より感謝いたします。
イエス様の御名によって。アーメン。

コニー・エドワーズ
オクラホマ州 タレクア

3月31日(日)

お塩を取ってください！

聖書朗読 マタイ 5:13~16

主の栄光を国々の中で語り告げよ。その奇しいわざを、すべての国々の民の中で。
詩篇 96:3

お塩を取る、明かりをつける。この二つはよくある日常の動作です。私たちはこれらを考えることなく行います。ちょっとした、取るに足りない動作ですが、この二つの動作は他とは違う影響を及ぼします。

塩は、食べ物上にふりかけられると、数秒後には見えなくなってしまうますが、塩によって料理の風味は増し、塩はその目的を果たします。明かりは消えることはなく、暗闇に光を發します。マタイは言っています。「明かりを柁の下に置くのではなく、燭台の上に置くのです。そうすれば人々を照らし、導き、輝かせることができるのです」。

私たちは地の塩、世界の光と呼ばれています。表にでない塩クリスチャンの働きはひっそりと、そして目に見えないかもしれませんが、その影響力は大きいのです。他のクリスチャン、明かりの役割を持つクリスチャンは、目立つ存在である、皆の前に出て教えを行い、皆を導きます。

あなたは生まれもった役割が、塩なのか明かりなのかはわかりませんが、その目的は同じです。それは、御国におられる私たちのお父様をあがめることです！ 塩で料理の風味が増したとき、塩ではなくその料理が褒め称えられます。明かりがともったとき、光にではなく、現れ出た隠れていたものに人は目がいつてしまいます。私たちの目的は、私たちがではなく、神様をあがめ、褒め称えることです。

次に、お塩を取るとき、明かりをつけるとき、あなたの目的は、神様を褒め称えることだと思いついて、実行してください。

讚美歌 第二編 194

祈り 親愛なる主。私たちがこの世界の塩と明かりとさせてください。自分を褒め、誇りに思いたいと思ってしまったとき、私たちをお赦しください。私たちの行い全てが、あなた様を褒め称え、あなた様の栄光を現すものになりますよう。

イエス様の御名によって。アーメン。

シェリー・J・シャンク
ウェストバージニア州 ヴィエナ